

# 議会だより

第57号

平成30年4月30日発行

## 主な内容

- 市民へのインタビュー …… P 2～3
- 第77回定例会の結果 …… P 4～10
- 一般質問 …… P 11～19
- 第76回臨時会の結果 …… P 20
- 議員研修会、一部事務組合議会 P 21
- 委員会調査レポート …… P 22～23

<http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>  
南あわじ市議会ホームページ





新企画

市民の声

春祭りで聞いた

議会でやってほしいこと。

# 南あわじ市への思いを聞かせて下さい!



みなさんの側に寄り添える市議会でありたいから…  
みなさんの声をお聴きました。

南あわじ市の元気が好き。島外からもっと人が来てほしい。



増田さん

保育料無料の制度がとてもうれしい。今後のことも考えると高齢者対策だけではなく、子ども達のことを第一に考えた子育て支援策に力を入れてほしい。



肥田さん



松崎さん

消防団や地域の祭りなど田舎ならではの温もりのある助け合い、繋がりがいい。若い人がもっとそんな繋がりに参加しやすくなる地域づくりに協力してほしい。

最近は地域から島外の高校に通う生徒が多くなってきたから利便性をあげてほしい。ららウォークの駐車場の前を通るバスが停まれる高速バスターミナルを作ってほしい。



片山さん

定員確保ができない地区では、准消防団などの出動しやすい団体の結成を望む。



坂東さん

消防団に若い人がいないので維持していくのが大変。人数が揃わないと夜警や定員のある行事など参加が大変。定数を減らすことはできないか。



久保田さん

島内外からの人口増加対策に力を入れてほしい。



久米さん

平野さん

南あわじ市に産婦人科が無い。子育て環境を整えてほしい。



仲河さんご夫婦

南あわじ市の方が家を建てても補助してほしい。産婦人科が遠い、出産ができる場所が市内にほしい。



守本さん

地域のイベントがとても活発だが、過疎が進んでいることが心配だ。



鳥嶋さん

子どもを連れていけると周りの人が温かく接してくれる。病児保育がほしい。



庄田さん, 竹田さん, 山岡さん, 林さん

公共事業をもっと増やしてほしい。人口増加対策に力を入れてほしい。

祭りは嬉しい。大都会には負けない元気がここにはある。もっと支払う税を下げしてほしい。淡路島南部独自の観光対策に力を入れてほしい。



酒部さん, 野口さん他

元気な祭りがいい。福良の魚が美味しい。

面白い人が多くてお祭りが楽しい。一か所でお弁当を食べながらお祭りを楽しめる場所がほしい。野外会議をしたら市議会をもっと見える場所してほしい。



井内さん姉弟

定住・子育て・地域活動  
住み続けたいまちだからこそ  
みんないろいろ願っている。

渦潮観光や、ちりめん、素麺など福良の食材が大好き。渦潮のPRで観光にもっと来てほしい。町がもっときれいになってほしい。楽しく遊べるお店が増えてほしい。



三輪さん, 長濱さん, 藤本さん

出会いの場や若い人が気軽に集まれる場所(低コストなバーやアミューズメント施設等)がほしい。ボルダリングなどが気軽にできると嬉しい。



豊田さん, 岡本さん, 久保さん, 萩野さん

【30歳代男性】 ●子育て支援が他市に比べて充実している。 ●食が豊かである。

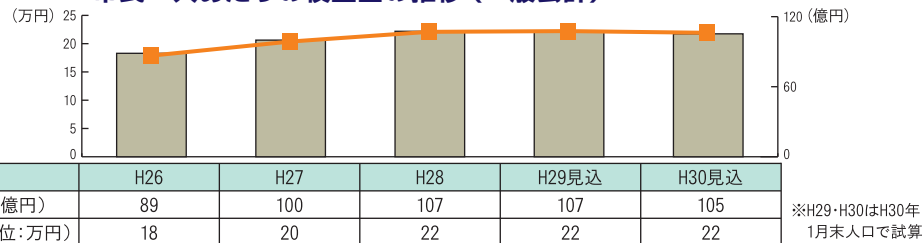
【40～50歳代男性】 ●道路整備を迅速に。 ●オニオン道路の早期接続をしてほしい。

これからも市議会はお声を聴きにまいります!!

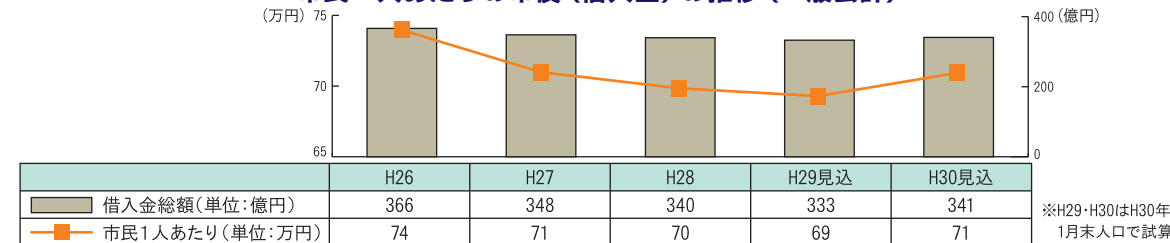


# 平成30年度 一般会計 予算審査

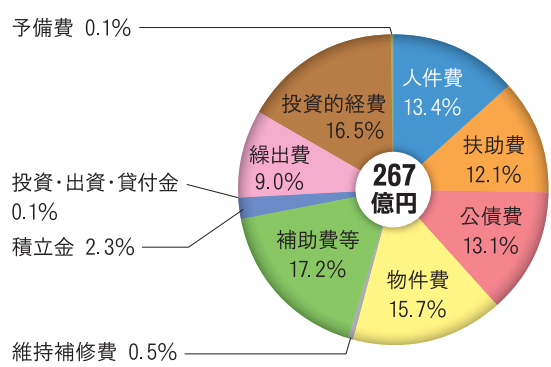
市民一人あたりの積立金の推移（一般会計）



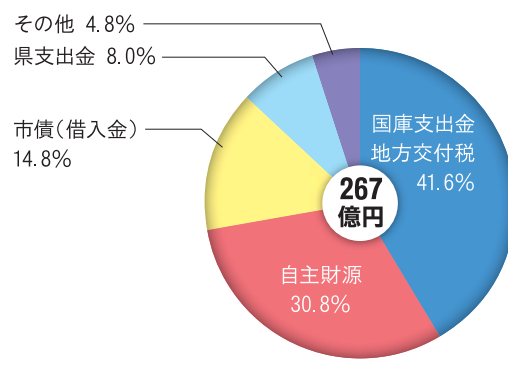
市民一人あたりの市債（借入金）の推移（一般会計）



一般会計 歳出（性質別）



一般会計 歳入



平成30年度一般会計・特別会計  
予算は「予算審査特別委員会」を  
設置して4日間にわたって審査し  
た。

予算審査特別委員会

- 委員長 原口 育大
- 副委員長 蛭子 智彦
- 委員 議長を除く全議員

審査過程で委員から出された主  
な意見は次のとおり。

一般会計

歳入

ふるさと南あわじ応援  
寄附金

寄附金が1億円の減額になって  
いる要因は、返礼割合の高い自治  
体や、震災・大規模災害の被災地  
に寄附金が集中したことによるも  
のと考えられる。寄附者が使いや  
すいポイント制度の見直し、特産  
品のPR、情報誌への掲載など積  
極的な宣伝方法を講じ、寄附金額  
のアップに努力されたいとの意見  
があった。

市民税の状況

個人では税制改正により、給与  
所得者の上限控除額が引き下げら  
れたのが一つの要因で増収が見込  
まれる。また給与所得の納税義務  
者の増加や一人あたりの所得増が  
4・4万円増となっていることから、  
景気の回復傾向の影響があると理

解している。

法人については、業種により増  
減まちまちであるが大手の製造業  
の増収が大きく影響している。そ  
の他に生活関連サービス業、医療  
福祉関連が伸びている。一方建設  
業や卸小売業などは減収となった。  
農業や漁業など南あわじ市の産  
業ごとの所得状況を別枠で、一つ  
の指標として分類してはどうかと  
いう意見があった。

税の滞納

現状では、市税・国保税等で16  
億9千万円である。滞納者には催  
告や呼出しによる納税交渉をしな  
がら、納付しやすい方法で納付し  
てもらっている。それでも滞納の  
場合は、財産調査の上、差押え等  
を行い強制的に徴収している。  
それにより少しずつではあるが  
徴収率も上がっており、繰越額も  
減少している。  
滞納の現状については市民に公  
表すべきであるとの意見があった。

マイナンバーカード発行  
促進報償費

本市のマイナンバーカード発行  
率は県下最下位である。  
市民に対し、さらにマイナンバー  
カードの利用メリットを周知して  
カードの取得率向上を図るとも  
に、地域経済応援ポイント利活用  
の促進にも取り組まれないとの意  
見があった。

バイオマス利用助成

28年度の「べと病」被害では残  
渣が多く、農家による埋却処分  
もされた。処分方法が不十分だと、  
土壌中で感染源となるカビが繁殖  
することから、農家への指導を徹  
底し、また停止しているバイオマ  
ス施設を早急に稼働させ、適切な  
残渣処分が行えるよう努められた  
いとの意見があった。

ごみ収集業務

収集の仕方は地区により異なり、  
軒先収集の地区もあれば、ごみス  
テーション方式で市民負担の大き  
い地区もある。収集業務に係る労  
務費用が過大にならないよう収集  
方法やごみの減量化も含め、コス  
トダウンに努められたいとの意見  
があった。

浮体式多目的公園（海釣り  
公園メガフロート）標識灯  
制御盤改修工事

地震による津波時には、この多  
目的公園（メガフロート）が、周  
辺に危害を及ぼす可能性も考えら  
れる。公園の存続について、早急  
に防災の専門的調査を行い、今後  
の対応を望む意見があった。

中間育成事業委託料

さらに魚礁を整備し、放流魚が  
成長できる環境を整えていくよう  
努められたいとの意見があった。

歳出

高齢者等元気活躍推進事業

活動した対価としてポイント付  
与を受けるが、ポイントの累積を  
換金額相当分に交換した時には雑  
所得の税申告が必要となることに  
ついて、市民に対し十分に説明を  
行うようにとの指摘があった。



▼各種研修大会負担金

防災士資格取得者が市内には59名いる。避難所のあり方や地域の防災計画などに関わり、地域防災力を高めていく活躍の場を提供できるとの意見があった。

▼市保育所改修工事

新設される保育所では、室数や面積確保を優先的に考慮した結果、陸屋根の屋根スラブ・ウェーブ状のものを採用している。公共施設には、地場産業である瓦の採用を再考されたいとの要望があった。



▲新設される市保育所の完成イメージ図

▼不登校児・生徒適応教室 指導員報酬

国の方針では、学校に通わなくてもフリースクールに通うこともできるとなっている。子どもたちの学力については、夜間中学校等の開設など新たな方策も検討して取り組まれないとの意見があった。

議員より修正案

■議案内容

一般会計予算の保育所費を40万円減額し、予備費を40万円増額する。

■提出者

蛭子智彦議員、吉田良子議員

■修正理由

公立保育所民間化を前提にした運営の法人選定委員会を作る必要は認められない。民間化は給食の外部委託、職員の非常勤化など保育の質の後退につながる懸念があるため。

■議決結果

修正案は賛成少数で否決  
原案は賛成多数で可決

特別会計

▼国民健康保険特別会計

福祉医療費のうち、未就学児に係る医療費は、30年度から国の補助対象となる。それに伴い減額となる一般会計からの繰入額は、国の指針では、その相応分について少子化対策事業の拡充を求めている。本市においてもそのように取り組まれないとの意見があった。

■討論

反対 蛭子智彦議員

討論要旨

国保税が広域化により、一人あたり1万円下がる見込みだが南あわじ市は健診受診率を上げるなど医療費削減に取り組む、県下21位の低さに抑えている。しかし、国からの交付金などを利用し、高い国保税をもっと下げられる。

▼後期高齢者医療特別会計

■討論

反対 吉田良子議員

討論要旨

75歳以上の保険料は、2年ごとの見直しで、今回均等割を558円引き上げ、4万8855円になり、また軽減特例の段階的廃止で保険料の負担が増えることになる。県の基金の活用などで引上げを抑えるべきである。

▼介護保険特別会計

■討論

反対 吉田良子議員

討論要旨

保険料の引き上げ、「ミニデイサービス」の存続を求める声がある中で、の廃止、要支援のホームヘルプサービスの担い手を緩和したサービスにする。特別養護老人ホームの利用料の負担増になるなど介護サービスの後退。

■議決結果

賛成多数で原案可決（特別会計13件）

手話言語の確立及び障害者のコミュニケーションに関する条例制定

■議案内容

障害者のコミュニケーションについての基本理念を定め、障害者の日常生活及び社会生活における円滑なコミュニケーションを促進するため、必要な事項を定めるもの。

【答】平成30年度は条例の周知と理解促進に努める。

【問】市職員が手話を習得するための計画は。

【答】島内3市で共同開催している手話教室への受講を啓発している。

■議決結果

賛成多数で原案可決

■主な質疑

【問】条例内容を実現する施策は。

陸の港にサイクルステーション 陸の港西淡条例の一部改正

■議案内容

観光交流人口の拡大を図るため、陸の港西淡施設にサイクルステーションを設置し、レンタサイクル事業を開始することに伴い、所要の改正を行う。

【答】事故発生時の対応は委託業者が行う。また、普通自転車の点検整備に付帯する保険に加入する予定である。

■議決結果

賛成多数で原案可決

■主な質疑

【問】レンタサイクルでの事故発生時の対応は。

空家対策

空家等の適正管理及び有効活用に関する条例制定

■議案内容

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく具体的措置のほか、空き家バンク登録等の有効活用、市の総合的な空家対策計画の策定義務等の事項を定める。

管理を推進していくとともに、対応が必要な空家に対しては具体的な措置を行うため。

【問】家屋の解体により、固定資産税が上がるのか。

【答】税の軽減措置が解除され、本来の固定資産税が課税されることになる。

■議決結果

賛成多数で原案可決

■主な質疑

【問】制定の理由は。  
【答】所有者に対し、空家の適正な



# 淡路関空航路支援に淡路3市が出資 権利の放棄

**■議案内容**  
淡路関空航路支援事業の実施にあたり、事業費の財源として充当するため、淡路ふるさと市町村圏基金に属する財産のうち、淡路3市の出資金4019万1千円を処分しようとするもの。

**■主な質疑**

**問** 初期費用の1回限りの充当とのことだが、淡路関空航路就航のスタート時に出資の話はあったのか。

**答** 正式な要望は平成30年2月1日であった。

**問** 島内公共交通網と関連性が乏しく、時期尚早では。

**答** 淡路島全体で取り組んでいくために、現在公共交通や観光戦略も進めている。訪日外国人等を淡路島へ呼び込む宣伝費用として、初期費用1回限りの補助について、基金を活用したい。

**問** 出資は今回限りとの約束事は担保されるのか。

**答** 淡路広域行政事務組合で補助金交付要綱を作成中であり、その旨記載すると聞いている。

**■議決結果**  
賛成多数で原案可決



▲淡路島と関空を結ぶ「淡路関空ライン」

## コミュニティバス運行準備委託料 など減額

平成29年度一般会計補正予算(第8号)

**■議案内容**

歳入歳出それぞれ10億1528万円を減額する。

**歳出**

**■主な質疑**

▼土木費・道路新設改良費  
1億9700万円の減額

**問** 減額の理由は。

**答** 主なものとして市役所前の市5号線に係る物件移転について協議が出来なかったための減額である。

**問** 着工はいつごろになるのか。

**答** 30年度に着工するために地権者と交渉している。

**問** 減額の理由は。

**答** 委託業者選定の新規事業者の参加を促すため募集期間を長く持ち、当初平成30年4月からの運行委託の予定を10月から変更した。そのため今年度の運行準備費用を減額し、30年度に計上した。

**■議決結果**  
賛成多数で原案可決

## 介護保険料の変更と 地域包括ケアシステムを強化

介護保険条例の一部改正

**■議案内容**

第7期老人福祉計画及び介護保険事業計画の策定により第1号被保険者に係る介護保険料が決定されたこと及び地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律の施行等に伴う条例改正。

**■主な質疑**

**問** 介護保険料の基準額が現在の5050円から5300円に変更される理由は。

**答** 第1号被保険者の介護給付費が上がったこと、介護医療院の開設が予定されていること、調整交付金の配分が下がったことが理由。

**■討論**

反対 吉田良子議員

**■討論要旨**

第7期の介護保険料は、高齢者の負担割合を増やしたため基準額が5050円から5300円に引

き上げられたこと、国の負担を増やすことを求めるとともに特に所得の低い方への保険料の引き下げが必要である。

**■議決結果**  
賛成多数で原案可決

## 議会委員会条例の一部改正

うものである。

**■議案内容**

南あわじ市行政組織条例の一部改正に伴い、総務常任委員会及び産業厚生常任委員会の所管を見直すとともに、議会広報広聴常任委員会の所管についても所要の改正を行う。

内容は、総務常任委員会を総務文教常任委員会に改めるとともに、各常任委員会の所管の見直しを行う。

**■議決結果**  
賛成多数で原案可決

## 治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称) の制定を求める意見書

**■要旨**

治安維持法が廃止されるまでの20年間に、送検された人6万8274人、警察署で虐殺された人93人、刑務所・拘留所での虐待・暴行・発病などによる獄死者は400人余にのぼっている。よって国は、犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと、治安維持法による犠牲者の

実態を調査し、その内容を公表することなどを一日も早く実現するよう要望する。

**■討論**

賛成 蛭子智彦議員

**■討論要旨**

戦前、戦争反対を唱え逮捕拷問

され命や財産を失った人に、民主主義の先覚者として敬意を払い、その時の国家の誤りを謝罪することが戦後の民主的国家的政府としてふさわしい立場である。

**■意見書提出先**

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣

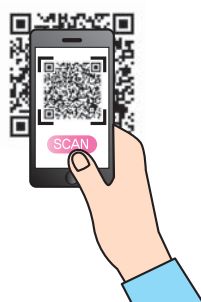
**■議決結果**  
賛成多数で原案可決



議会だよりの新しい取り組み

スマートフォンやタブレット等で質問議員のQRコードを読み取ると、直接一般質問の録画映像にアクセスできます。

※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



一般質問 市政を問う

平成30年度の施政方針・予算案に対する総括質疑と市の一般事務に関する一般質問が行われました。

3月2日、5日、6日、7日の4日間にわたって、17人の議員が市政を問いました。

なお、市ホームページで、さんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。

閲覧方法 「市のホームページ」→「南あわじ市議会」→「録画放送」→「一般質問の録画配信」

29年度補正予算
一般会計補正予算(第8号)
国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
土地開発事業特別会計補正予算(第1号)
産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算(第2号)
ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第3号)
農業共済事業会計補正予算(第3号)
土地開発事業特別会計予算
産業廃棄物最終処分事業特別会計予算
ケーブルテレビ事業特別会計予算
国民宿舎事業特別会計予算
農業共済事業会計予算
広田財産区特別会計予算
福良財産区特別会計予算
北阿万財産区特別会計予算
沼島財産区特別会計予算

30年度予算
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
職員の給与に関する条例の一部改正
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
平成30年4月に実施する市の組織改編に伴う関係条例の整理に関する条例制定
健康福祉協会基金条例を廃止する条例制定
サンライズ淡路基金条例制定
国民宿舎基金条例制定
入札監視委員会設置条例制定
国民健康保険条例の一部改正
障害者福祉計画等策定委員会条例の一部改正
南あわじ市手話言語の確立及び障害者のコミュニケーションに関する条例制定
伊加利デイサービスセンター条例の一部改正



▲組織変更によりレイアウト変更をした1階窓口

30年度補正予算
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
職員の給与に関する条例の一部改正
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
平成30年4月に実施する市の組織改編に伴う関係条例の整理に関する条例制定
健康福祉協会基金条例を廃止する条例制定
サンライズ淡路基金条例制定
国民宿舎基金条例制定
入札監視委員会設置条例制定
国民健康保険条例の一部改正
障害者福祉計画等策定委員会条例の一部改正
南あわじ市手話言語の確立及び障害者のコミュニケーションに関する条例制定
伊加利デイサービスセンター条例の一部改正

30年度予算
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
職員の給与に関する条例の一部改正
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
平成30年4月に実施する市の組織改編に伴う関係条例の整理に関する条例制定
健康福祉協会基金条例を廃止する条例制定
サンライズ淡路基金条例制定
国民宿舎基金条例制定
入札監視委員会設置条例制定
国民健康保険条例の一部改正
障害者福祉計画等策定委員会条例の一部改正
南あわじ市手話言語の確立及び障害者のコミュニケーションに関する条例制定
伊加利デイサービスセンター条例の一部改正

市議会は市の将来展望に向けて、市民に対して、どのようなメッセージを送るのか。
市長 理想の姿をいえば、地域の人たちが活発に活動して経済面とか、社会面等支え合いながら行政側と一緒に、地域を造り上げなければならぬのではないかと思う。

施政方針及び重要政策と将来展望について

会派代表質問 ゆづるはクラブ

中村三千雄 議員



市長は市の将来展望に向けて、市民に対して、どのようなメッセージを送るのか。

議決結果一覧

議長は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、-は欠席)

賛否の分かれた議案

Table with columns for proposer, proposal name, council decision, and individual councilor votes (Arai, Asano, etc.).

全議員賛成の議案

Table with columns for proposer, proposal name, council decision, and individual councilor votes (Arai, Asano, etc.).



会派代表質問

市民連合クラブ

印部 久信 議員



施政方針について

**問** 超高齢化社会の克服の一環としてのボランティアポイント制について。

**企画部長** 介護施設でボランティアをした場合、施設からポイントを付与する。市の保育所で給食の配膳、片づけ、簡単な業務をした場合、施設の経費で付与する。

について。

農林水産部長 圃場

整備事業であり、土地改良法の改正により、受益者負担がゼロ事業、採択要件が厳しいが、協議しながら詰めている。

**問** 職員による収賄事件について。

**市長** 重く受けとめており、再発防止に注力していく環境をつくっていく。



**問** 夢プロジェクトから学ぶ創造力養成事業について。

**教育次長** 平成26年度から現在まで中学校6校と小学校4校実施。スポーツや文化の魅力を発信する努力の大切さを学ぶ。本年は、芸術派遣事業にも取り組む。

**問** 淡路定住自立圏構想について。

**企画部長** 中心市は洲本市で、南あわじ市と淡路市が連携協力、生活機能の強化。

①休日夜間診療所の運営。  
②地域の公共交通ネットワークの形成。  
③圏域マネジメント能力の強化。

**問** 農地中間管理機構関連農地整備事業

**問** 南あわじ市の地域創生とは何か、また、最優先で取り組む課題は何か。

**市長** 既にある磨かれていないものを磨き上げる。あるいは幾つかのものを繋ぎ合わせ、さらに魅力を出していくこと。つまり、今ある食産業や歴史、文化を最大限に生かしていくことが正道であると感じている。

最優先の課題として、本市の産業のポテンシャルの高さや、地域の潜在力を認識し、何ができるかという可能性を共有することである。また、そのためには現場へ出かけ対話をするこ

とで協働の基盤をつくるということが最優先の課題と考える。

**問** 南あわじ市の農業の将来と、農地を守るための農業形態の方向性について。

**農水産部長** 水稲作に特化した大規模な法人や、雇用と機械化で省力化し規模拡大した野菜農家と、その他第2種兼業農家に二極化されていくと考える。

農地を守る農業形態としては、現在48%の圃場整備率を60%程度とすること。そのために、農地の将来を考える「人・農地プラン」を推進し、地域での話し合いの機会をつくっていく

会派代表質問

創世クラブ

久米 啓右 議員



地域創生と農業の将来展望

必要があると考える。

また、中間管理機構を通じた、負担金ゼロの新しい圃場整備事業の活用や、既存の多面的機能支払事業を維持して、農地を守っていくことは続けていきたい。



会派代表質問

誠道クラブ

阿部 計一 議員



税の滞納状況について

**問** 国民の最大義務である納税について、特に合併後13年間に約11億円の滞納がある。一般市民の皆様は滞納状況を公表すべきであると思うが、市長のご意見をお伺いする。

**市長** ご指摘の市税収納率は、大変重要であると考えており、着任後も努力し、少しずつではあるが、着実に収納率が上がってきている。最近では、差し押さえ処分を積極的に行うなど、滞納額の縮減に取り組んでおり、今後も改善に努める。公表については、検討の余地はあるが、累積額だけが独り歩きする

男性、女性で可能性を狭めるような、そういうふうな取り組みにならないようにということ、校長会等を通じて指導はしていきたいと思っている。

ような形は避けるべきと思う。

**問** 中学校の部活について、特に女子の野球入部について、最近三原中学校、南淡中学校で事情はよく分からないが、入部について拒否されたと聞いている。女子プロ野球が盛んになり、北淡中学校、洲浜中学校でも現実に女子が野球部で活躍している。南あわじ市においても、教育上の観点からも女子野球部への入部も認めるべきだと思いが、答弁をお願いしたい。

**教育長** 色々課題はあると思うが、基本的な考え方として、



会派代表質問

日本共産党南あわじ市議員

蛭子 智彦 議員



職員倫理の確立を求める

**問** 市長は南あわじ市の景気動向を良くように見ているがどううか。

**企画部長** 個人消費は下がっている。有効求人倍率は良いように見えるがホテル接客、福祉関連が敬遠され景気の向上によるものとは一概には言えない。産業全体ではまだ模様と見える。

**問** 収賄事件では、元幹部の対応に問題がある。その教訓を明らかにすることが組織をきれいにすることになると思うがどうか。

**市長** 裁判の経緯を詳細に把握しながら対応したい。

低制限価格を予定価格の93%にしている。この要望者の中で解体工事にかかわっている業者がいるか。

**副市長** お答えする必要はないかと思う。事業者名は公表するべきだ。業者との癒着が気になる。業者の利益も大事だが市民全体の利益を考えるべき。

**副市長** 結果論になるが、その時に別な対応をしていけば大きなことにはならなかった可能性はある。

**問** 解体工事では6業者からの要望を受けて最



▲広域水道企業団 南あわじ市お客様センター



ゆづるはクラブ

太田 康文 議員



### 西淡・三原志知小学校の新再編計画

**問** 説明会での住民、保護者の反応は。

**教育次長** 保護者代表から旧の統合方針を希望する意見があった。

**問** 地域や保護者の思いに沿わない再編は進めていいの。

**教育次長** 今答弁していく、これから議論をしていく。

**市長** 地域全体として了解がなければ、前に進めないのはその通り。

**問** 再編は、いつまでにやるのか。

**教育次長** 目途が32年と33年、これから話し合いの状況等により前後する。

**問** 市が地域に足並みを揃えればいいのか。

**教育次長** 丁寧にお互いに議論しながら方向性に

**建設部長** 下り駐車場の充実については、周辺整備も含めて今後考えていきたい。

**福良の観光周辺整備**

**問** 渦潮世界遺産に向けたPRだけでなく、駐車場整備も行うべきでは。

**企画部長** 市による駐車場の整備計画はない。

**問** 南淡町役場の跡地はどのように使うのか。

**総務部長** 福良まちづくり協議会で計画を立てて頂き対応していく。



▲1月に西淡・三原志知で再編計画の説明会が行われた

日本共産党南あわじ市議員

吉田 良子 議員



### 国民健康保険税に引き下げを求める

**問** 国保加入者の状況はどうか。

**市民部長** 65歳以上は41%、軽減世帯は49%、滞納税額が5万円以下は150件。

**問** 加入者は経済的に厳しい。国保税の引き下げが必要ではないか。

**市民部長** 一般会計からの繰り入れは、考えられる範囲であるが、国、県の方向性と違う。

**問** 均等割は1人あたり3万3千900円、所得のない子どもも均等割が必要、子どもの減免はどうか。

**市長** 子育て支援で一番効果の高いものを研究したい。

**骨粗しょう症、インフルエンザ予防接種への支援を**

**問** 町ぐるみ健診で骨粗しょう症検診を受けられるが、指定病院でも健診ができるようにしてはどうか。

**市長** 費用対効果の高いものと思うが、町ぐるみ健診の啓発をやっていく。

**問** インフルエンザでの学級閉鎖は。

**福祉部長** 中学校で1校、小学校で12校。

**問** 接種費用は約5千円必要、市長は共働き世帯を視野に入れた施策が必要と言われたが、助成はどうか。

**市長** 予防接種は、



▲町ぐるみ健診

その時の考え方があ。いろんな研究で分かってきたとき十分に考えていく余地がある。

**認定こども園を推進するのは**

**福祉部長** 教育と保育、一体的に推進できる。

**問** 公立での運営はどうか。

**福祉部長** 財政、保育士の確保など非常に難しい部分がある。

ゆづるはクラブ

原口 育大 議員



### 障がい者福祉施設の整備について

**問** 障がい児のための児童通所支援サービス施設の現状は。

**福祉部長** 市内の3事業所で、定員合計30人。登録者数は重複も含め136人。

**問** 第1期障害児福祉計画における、これらの施設の整備目標は。

**福祉部長** 放課後等デイサービスでは、実利用者が14人程度増える見込みだが、現行の3事業所対応でできるかと考える。

児童発達支援サービスも、利用者が3人程度増える見込みだが、医療保険での療育利用に加え、事業所が定員拡大も検討しており、現行の1

事業所でも対応可能と考える。

**問** 深刻なのは介護する親の高齢化。障がい児のお母さんから「この子より1日だけ長生きしたい」と言われたことが耳に残っている。18歳以上で生活介護の必要な障がい者の生活介護施設の状態は。

**福祉部長** 「なでしこ」は定員10名のところ登録者22名、稼働率77%。「ウインズ」は定員14名、登録者数22名、稼働率87%。「フローラ」は定員20名、登録者数44名、稼働率は89%。



▲なでしこデイサービスセンター

**問** 第5期障害福祉計画での生活介護施設のニーズと整備計画は。

**福祉部長** 32年度には実利用者が8人程度増えると見込んでいる。定員を拡大する方向で検討中の3事業所でも対応できると考えている。

市民連合クラブ

北村 利夫 議員



### 施政方針について

**問** 一般会計267億円でキラッと光る施策は何か。

**企画部長** 65歳以上の就業率が、国・県平均の2倍、女性も約1割高い。

**市長** 一つは、更に高齢者の方の活躍の場を作る。もう一つは地域の個性を生かして、住民自らが行う地域の活性化の取り組みに対して行政が後押しする。ある意味地域創生の施策がほかの地域と比べて特徴ある施策。

**問** 生活習慣改善を通じた健康づくり、今小学生を取り巻く環境の変化は。

**教育次長** 早寝、早起き、朝ご飯等子どもたちの生活リズムの改善を提唱している。

**問** 朝食を取る児童はどれくらいか。

**教育次長** 市は89.1%、全国平均87%。

**問** 生活改善は保護者、家庭との連携が不可欠、家庭との連携、考え方は。

**教育次長** 生活習慣は、家庭でつくっていただきたい。学校便り、PTA総会、授業参観等で、保護者・家庭へご協力をお願いしている。

**問** 道の駅福良周辺に年間70万人が訪れるが、滞在時間が短い。

**企画部長** 福良周辺の施設、観潮船、淡路人形浄瑠璃、土産物の店、飲食店等々若干回遊しているが、広い範囲で周遊していない。

**問** 観光施設の不足である。福良の再開発は。

**市長** 福良のまちづくり協議会、若手の方がチャレンジ事業で取り組み始めているので応援していきたい。



▲地元特産のお土産を販売する店がある「なないろ館」



ゆづるはクラブ

小島 一 議員



施政方針について

超高齢化社会の克服とは。市長 高齢化していても、ずっと社会を支える側に回っていただくという形が...

おける、まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策推進の中核的な役割を担っていた...

総務部長 国からの人材招聘は、総務省の地方創生人材支援...



教育長 随時計画等から。実施の開始は10月から。教育の再編の考え方について。

学校教育の充実をめざして 2020年4月から新学習指導要領が全面実施されるが...

市民連合クラブ

土井 巧 議員



働き方改革の推進

学校・市における働き方改革をどう進めていくか。教育次長 学校支援システムを導入して...

総務部長 市の業務改善プロジェクト事業を通じて職員が対話と行動に力を注げる...

市長 やりようによっては、よくよく考えていかなければならないと思う。



修学旅行で英会話に挑戦

南あわじ市公明党

熊田 司 議員



収入保険制度の周知を望む

農家の収入保険制度は、公明党が強力に推進してきた制度だが、内容は。農林水産部長...

子育て支援アプリの導入を 子どもの予防接種・健診のお知らせや各種の講座の日程...

農林水産部長 1年間の収入を補償することになるので、農家のセーフティネットになる。

農林水産部長 自然



市民連合クラブ

長船 吉博 議員



福良湾口防波堤について

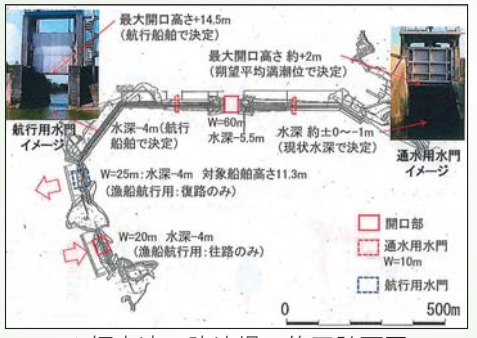
当初計画から大幅に計画変更したと聞いて。建設部長 当初と大分違った計画となっている。

自主防災組織の充実を 超高齢化社会、限界集落の自主防災組織のあり方は。

建設部長 県からは変わらぬと聞いている。おかし。休暇村と煙島の背後面積が狭い。

建設部長 県からは以前と変わらないと聞いている。

迷惑空き家対策は 空き家調査の結果は。建設部長 居住実態のない可能性が912軒。



福良湾口防波堤の修正計画図



誠道クラブ

谷口 博文 議員



陸の港西淡の運営について

陸の港西淡の運営委託はどこに決定したのか。

建設部長 近畿日本ツーリスト関西神戸支店に決定した。

改修後の用途は。

建設部長 主に待合所、切符販売。4月1日から特産品販売、軽食程度の販売、観光案内、それに加えサイクルステーション業務等である。

駐車場の整備は。建設部長 今現在246台のスペースがある。このたび隣接地に8台、中のスペースに8台、それから30年度に西淡志知公民館の前に借地の駐車場の整備計画をしている。

津井の福祉の里の予定は。福祉部長 開設のスケジュールは31年3月に完成。特養、ショートステイ、デイサービスセンター、グループホームの開設を予定していると聞いている。津井地区は医療

空白地域になっているので、地域診療施設をお願いできないか。福祉部長 法人代表者の方とも地域課題として話し、何らかの形で協力したいと聞いている。その他、慶野松原荘、駐車場、キャンプ場、海水浴場の管理、吉備国際大学、観光施設等質問した。



陸の港西淡に新設されたサイクルステーション

ゆづるはクラブ

北条志津子 議員



らんらんバス停の環境整備は

各バス停の時刻表、ルート案内図の入替え実施は。

建設部長 3月中旬に変える予定。アクリル表示板も徐々に変えていく。

素屋根や待合所の設置計画は。

建設部長 全部とはいかなくても拠点的な乗り換え場所等の検討はしていく。

市地域公共交通会議委員に女性、若い方たちの委嘱を。建設部長 次回の開催時には女性委員を。

美しい街づくりを。市内にある人形モニュメントなどの設置数と場所は。企画部長 八木鳥井

と新庄、賀集、市セクターパーク、旧三原庁舎の5ヶ所。企画部長 賀集イオメントは何年か。建設部長 限られた予算内で順次に修繕、改修をしていく。立石新庄線(国分寺付近)道路の整備を。又、おもてなしの一つではないか。建設部長 限られた予算内で順次に修繕、改修をしていく。オニオン道路の早期開通を。市長 重要道だと思

が重要。整理し対応をしていく。道路整備の早期実現を。立石新庄線(国分寺付近)道路の整備を。又、おもてなしの一つではないか。建設部長 限られた予算内で順次に修繕、改修をしていく。オニオン道路の早期開通を。市長 重要道だと思

戎舞 (うずしおライン八木新庄)

創世クラブ

木場 徹 議員



漁業の問題点と振興策は今のままで良いのか

市長 昨年、安倍総理は水産政策改革の方向性を示し、技術、漁獲規制のやり方について方針を示した。日本の漁業資源管理を漁具、地域、漁期等の規制から漁獲可能量、個別割当方式の方向性に行くとの事だが、この説明をお願いしたい。

農林水産部長 TACと言う漁獲制限でマイワシ他7魚種を指定、IQ方式で漁業者や漁船ごとに量を割り当てる方式。市内漁獲は5年前と比較しどうか。農林水産部長 平成28年は28億4千万円であり3億円増。

津井地区を瓦製産から瓦美観の町にしては。瓦の支援策を何か考えてほしいが。市長 当面できることは、例えば市のつくる建物にある程度いぶし瓦を使っていることあると思う。瓦とひな祭りや賑わっているが、この地域を瓦による街並み景観と瓦の関連商品を展示し一目で瓦が分かるモデル

地域にしてはどうか。市長 瓦を使う事に住民の合意があり、風致条例が制定されれば支援措置が考えられる。市民の足コミュニティ運行に利用者の声を聞く。地域公共交通会議の委員に利用者が入っていないが。建設部長 委員として、利用者の意見を全部出すのは難しい。



産業文化センター(津井)

ゆづるはクラブ

登里 伸一 議員



介護予防・日常生活支援総合事業

シニア世代が、仕事や社会貢献の継続で、健康寿命を伸ばし、医療・介護費用の低減や地域の人手不足の解消を図っている。市長の政策と重なるこの事業の時代背景・本市の状況、事業費用、今後の課題について聞く。福祉部長 急激な少子高齢化と人口減少社会、2025年問題で介護保険制度が改正され、地域で包括的な支援、サービスの提供ができる体制、地域包括ケアシステムの構築に取り組み必要性からである。予防通所介護と予防訪問介護は、本年

度から予防事業に移行、4月からは従来の予防サービスと市が緩和した生活支援サービスを中心とした訪問型のサービスを実施する。また、地域の支援もしていくが、共生の地域づくりが不可欠で、地域や高齢者が我が事として参画していただければ大きな課題である。

津井と湊間の県道改良と道路整備

登立の坂道の改良事業、西田瓦工場沿道路の視距改良、津井湊間県道の白線整備や雑木・雑草の伐開、景観や環境整備を望む。



いきいき百歳体操

登立の県道は、地籍調査で一部地権者から調整の申し出があり、解決への調整中である。津井丸山間のカーブ地点で危険な箇所があり、用地提供は問題がないので道路視距改良に取り組んでいただきたい。建設部長 県道全体で考えて、地元調整やいろいろな面で環境を整えれば、県へ要望していきたい。



臨時会を開催

第76回臨時会が1月17日から1月23日まで開かれ、市長より提出された議案2件を審議しました。  
主な議案の内容と質疑、採決の結果をお知らせします。

入札事務の技術支援業務委託料などを追加

平成29年度一般会計補正予算(第7号)

■議案内容

一般会計予算の総額に歳入歳出それぞれ1千830万円を追加する。

■主な質疑

で、仕様書の公平公正の点検や、透明性を高めるため、第3者が介入することにより適正に実施するものである。

歳出

▼債務負担行為補正・技術支援業務委託料600万円の追加

問 委託内容及び対象部署は。

答 支援業務として、工事発注から施工・検査に至るまで、流れの中の委託になる。部署は特定しない。

問 今回の贈収賄事件を受けての再発防止策か。

答 入札を取り巻く課題解決の中

▼市保育所実施設計委託料980万円の追加

問 新築される保育所の定員及び保育の形態は。

答 定員は175名であるが、法律で認められている超過範囲内の210名規模での施設整備である。形態は認定こども園として計画している。

■議決結果

賛成多数で原案可決

市役所組織を改編

行政組織条例の一部改正

■議案内容

市が直面する課題に迅速に対応し、本市の強みを活かした総合的な政策調整をするため、部を統合し、より効率的な組織体制を構築する。

■主な質疑

問 総務企画部の事務分掌に、移住・定住を加えた理由は。

答 密接な関連性がある。

問 「少子対策」から「子育て支援」に変更した理由は。

答 少子対策は市役所全体で取り組む。子育て関連の多様な支援のため「子育て支援」とした。

問 商工業及び観光の振興を産業建設部へ移した理由は。

答 農水産業と商工、観光は結びつきが強く、連絡調整がしやすくなる。

■議決結果

賛成多数で原案可決

議決結果一覧

議長は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対)

提出者	議案名	議決結果 (議会の意思)	各議員の賛否																
			中村三千雄	阿部計一	登里伸一	北村利夫	印部久信	長船吉博	吉田良子	木場徹	小島一	久米啓右	北条志津子	谷口博文	土井巧	原口育大	熊田智彦	蛭子智彦	太田康文
市長	29年度一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	行政組織条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一部事務組合などの議会報告

平成30年1月～3月

議員研修会を開催

テーマ「日本のはじまり淡路島」

～日本の元気を淡路島から～

2月2日に淡路県民局の吉村文章局長を招いて、委員会室にて議員研修会を開催しました。

■主な内容

淡路県民局の吉村文章局長より「地域の元気づくり」「新たな島づくり」「安全安心な島づくり」の3部にわたり講演をいただいた。

淡路島の歴史や現状、強みなどの淡路島の解析をし、今後の成長の方向性や淡路島のプランディングということで、超高齢化社会における日本のさきがけとなる「はじまりの島」と位置づけ、環境未来島構想と観光について熱く語られた。

この研修会には、全議員と行政管理職にも参加いただき、講演会後に活発な意見交換を行った。



▲環境未来島構想について話をする吉村文章県民局長

淡路広域行政事務組合

▼第1回定例会

〈2月15日〉

平成29年度一般会計補正予算、平成30年度一般会計予算、淡路ふるさと市町村圏基金の処分などを可決。

▼第2回臨時会

〈3月29日〉

職員の給与に関する条例などを可決。

淡路広域消防事務組合

▼第1回定例会

〈2月15日〉

平成29年度一般会計補正予算、平成30年度一般会計予算などを可決。

▼第2回臨時会

〈3月29日〉

専決処分の承認を可決。議長に福本巧議員、監査委員に地村耕一良議員を選出。

洲本市・南あわじ市衛生事務組合

▼第1回定例会

〈2月21日〉

平成29年度一般会計補正予算及び平成30年度一般会計予算(総額4億2924万5千円)について審査し、原案通り可決。

蛭子智彦議員が「焼却炉更新の考え方について」一般質問を行った。

南あわじ市・洲本市小中学校組合

▼第1回定例会

〈2月14日〉

平成29年度一般会計補正予算及び平成30年度一般会計予算(総額2億5861万6千円)について審査し、原案通り可決。



市内観光施設及び交通関係者との意見交換会

総務常任委員会

■2月20日の委員会

▼テーマ

観光客の呼び込みと公共交通を含めた観光客の移動手段について各施設での誘客の取り組み状況、訪日外国人

への対応、観光客の移動手段等について、市内観光施設及び交通関係者と意見交換をした。

▼主な意見

・ 閑空から洲本に着いた観光客が周遊バス



▲観光客の誘致についてなど意見交換を行う

地元の意見を聞いた

学校再編計画を

産業厚生常任委員会

■1月18日の委員会

▼減反政策について

支払交付金の廃止による本市への影響は。

約500万円弱の交付金減となるが水田活用の直接支払い交付金、産地交付金を含めると大きな減とはならない。



▲学校再編計画で松帆小学校と統合を予定している西淡志知小学校(左)と市小学校と統合を予定している三原志知小学校(右)

# 委員会調査レポート

各委員会では、議会閉会中も調査活動などを行っています。1月～2月の議会閉会中に行われた委員会の概要を報告します。市ホームページに会議録を順次掲載していますので、ご利用ください。

ここが知りたい

で1日とか半日で回るようなモデルコースが必要。  
・ 閑空に淡路島の情報が全くない。閑空第1ターミナルの到着出口の1階で淡路島を宣伝することが必要。  
・ 淡路にとつては、京阪神から南あわじ市まで来て泊まっていたら観光客をいかに増やすかが大事。

・ インバウンドも大事だが、首都圏からの客をいかに呼び込むかも非常に大事。  
・ 福良湾を中心とした景観、イングラントの丘を中心とした内陸部の田園風景もすばらしい。ドライブコースやサイクリングコース、ウォーキングコースを設定し、

起点と終点にタクシーやバス、駐車場の完備するような地域間の観光施設の連携、官民一体となった連携をして欲しい。  
・ インターネットを通じて、パワースポットを周遊コースとして

回っているが、結構お客さんが来てくれる。沼島も人気がある。  
・ 閑空へ着いてからどこへ行くかを決めるのではないので、情報発信が重要。

議会広報誌、議会モニター制度を調査

議会広報誌聴常任委員会

■管外調査

(2月8日～9日)

●北名古屋市議会

議会だよりの作成コンセプト、及び議会モニター制度の導入効果についてを調査。  
議会広報誌が大幅にリニューアルされた背景や効果を検証した。表紙は名古屋芸術大

学の学生によるイラストで目を引くデザインを採用している。記事は「横書き」に変更し、文字数を少なくし写真・イラストを多く用いている。課題は、市民からの賛否両論あり。経験の浅い職員による紙面づくり。広報誌とホームページとの役割の違い等。

議会モニター制度がどのように機能しているかを確認した。市民が議会の傍聴を通じて、市議会に対し意見・提言し、議員活動に反映させるのが目的。人数は10名以内で意見交換会を開催することで、生の意見を議会に届けられることができる。

●名古屋都市センター

議会広報基礎講座(株)地方議会総合研究所主

催)を受講。  
紙面づくりのポイントを、先進事例の広報誌を参照しながら研修を受けた。また、Webとの連携を活用し限られた紙面から広がりのある手法を学んだ。  
議会広報誌は、情報の一覧性と正確性・信頼性が特徴である。課題としては市民目線で、読みたくなる紙面づくりが求められる。

■2月7日の委員会

▼学校再編計画

説明会で教育委員

会から地元ともしっかり話し合いを進めていきたいというような話があったと思うが、今後の計画は。

● 地元から幾つか意見をいただいているので、もう一度精査し、説明会を年度始めに行い、ご理解いただける

部分を増やしていきたいと考えている。

▼教員の働き方改革

市の教員の現状は。

● 小学校の先生では、教材研究であったりとか、子どもたちの成績管理に時間がかかったりしている。中学校では、一番大きいのは部活の指導が入り、時間的に長くなるという現状である。

▼教育センターの設置

教育センターの設置計画は。

● 重要な要素で、一度には難しいので、インターネット上の教育センターを検討している。

▼選手派遣補助金

● 全国大会出場への補助金を公平・公正な判断で検討してほしい。

▼健康ポイントの導入

● 健康ポイント制は行わないのか。

● 検討は行ってないが、成功している自治体を参考に今後検討する。

● 課題も認識している。どのような制度が良いか検討する。

● 健康ポイント制は行わないのか。

● 検討は行ってないが、成功している自治体を参考に今後検討する。



# 第78回南あわじ市議会定例会日程(6月)

◆開会はすべて午前10時～

※すべてインターネット中継あり

会議日	会議内容(予定)
第1日 6月8日(金)	1. 条例案上程(説明、質疑、委員会付託) 2. 平成30年度一般会計補正予算案上程(説明、質疑、委員会付託) 3. その他の案件上程(説明、質疑、委員会付託)
第2日 6月18日(月)	1. 一般質問
第3日 6月20日(水)	1. 一般質問
第4日 6月21日(木)	1. 一般質問 2. 追加議案上程(説明、質疑、委員会付託)
予備日 6月22日(金)	
第5日 6月28日(木)	1. 追加議案上程(説明、質疑、討論、表決) 2. 付託案件委員会審査報告(質疑、討論、表決)
委員会	6月25日(月) 総務文教常任委員会(付託案件の審査)
	6月26日(火) 産業厚生常任委員会(所管事務調査)

# 5月・6月の委員会日程

委員会	日時・場所・内容
議会運営委員会	5月14日(月)～5月16日(水) 管外調査(福岡県古賀市、熊本県熊本市、長崎県諫早市)
	6月1日(金) 午前10時 第78回市議会定例会について
	5月8日(火)～5月10日(木) 管外調査(東京都調布市、神奈川県秦野市・小田原市、埼玉県蓮田市)
産業厚生常任委員会	5月21日(月) 午前10時 所管事務調査 ※インターネット中継あり
議会広報広聴常任委員会	5月17日(木) 午前10時 子ども議会について
	6月14日(金) 午前10時 議会だよりについて等

ぜひ傍聴にお越しください。

## 平成29年度議会交際費支出報告(予算70万円)

目的	件数	支出額(円)
祝金	7	55,000
見舞金	0	0
香料	4	40,000
供花	6	29,000
賛助	0	0
会費	11	127,000
その他	10	66,700
合計	38	317,700

※議会交際費とは、議長等が対外的な交際を行うための経費です。支出基準に基づき、支出しています。

## 平成30年度 議会事務局職員の紹介



局長 前田 秀美  
課長 船本 有美  
課長補佐 田坂千佐美  
" 佐々木友美  
" 川添 卓也  
主事 大原 圭史

以上の6名で議会事務にあたります。

新年度がスタートしました。議会だよりも今回、新たな試みとして議会広報広聴委員が、春祭りの現場にカメラを持って市民の方々から直接、市政、議会への要望、ご意見を伺いに出かけ、特集記事として掲載しました。ご協力いただいた皆さんにお礼申し上げます。

3月議会の代表・個人質問のページでは、各議員の質問の様子をスマートフォンなどでQRコードを読み取り、視聴することができるようになりました。これからも市民の身近な議会だよりを工夫していきます。(吉田)

編集後記